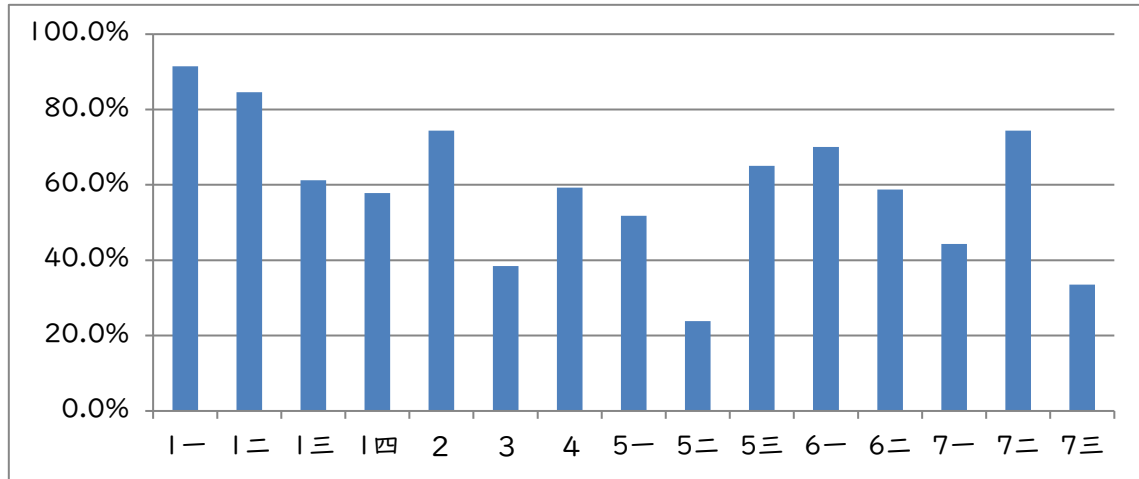


令和4年度第2回みえスタディ・チェックの結果(小学校国語)

1 平均正答率, 平均無解答率及び領域別平均正答率

平均正答率 (平均正答数)	平均 無解答率	領域別平均正答率			
		知識及び 技能	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
59.3% (8.9問/15問)	3.12%	64.0%	54.0%	46.9%	64.4%

2 各問題の正答率グラフ



3 各問題の正答率・改善状況 ※網掛けは, 正答率が過去より5ポイント以上低い問題です。

問題番号	問題概要	問題形式	正答率	過去 同一問題 正答率	改善状況
1	「くわえて」を漢字で書いたときの送り仮名が正しいものを選択する	選択	91.5%	—	—
	文脈に沿って漢字を読む(勢い)	短答	84.6%	78.4%	+6.2
	文脈に沿って漢字を書く(みんなで <u>そう</u> だんして)	短答	61.2%	57.4%	+3.8
	文脈に沿って漢字を書く(き重な <u>き</u> かい)	短答	57.8%	55.4%	+2.4
2	示された述語に対する主語を選択する	選択	74.4%	74.8%	-0.4
3	接続語を使って一文を二文に分けて書く	短答	38.5%	42.4%	-3.9
4	故事成語の使い方として適切なものを選択する(五十歩百歩)	選択	59.3%	45.4%	+13.9
5	「かみかみあえ」についての【おすすめする文章】の最初の部分に□□□□のように書いた理由として適切なものを選択する	選択	51.8%	56.8%	-5.0
	【おすすめする文章】の□□□□に, おし歯を防ぐ効果について, 【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く	記述	23.9%	13.8%	+10.1
	【紹介する文章】を基にして【おすすめする文章】を書くときの工夫として適切なものを選択する	選択	65.0%	70.3%	-5.3
6	学校新聞を書くために, 「時の記念日」についての【資料】から, 小野さんが中心に読むとよい段落を選択する	選択	70.1%	74.2%	-4.1
	学校新聞を書くために, 「時の記念日」についての【資料】から, 今村さんが中心に読むとよい段落を選択する	選択	58.8%	62.8%	-4.0

7	一	【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	選択	44.4%	68.2%	-23.8
	二	【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する	選択	74.4%	84.2%	-9.8
	三	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 □ でどのように話すかを書く	記述	33.6%	44.2%	-10.6

【改善が図られた問題】

- ・ 故事成語の意味と使い方の理解を問う問題（４）
- ・ 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く問題（５二）

【課題が見られる問題】

- ・ 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える問題（７一）
- ・ 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える問題（７二）
- ・ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる問題（７三）

4 課題が見られる問題とその課題の改善に向けた指導のポイント

（１） 課題が見られる問題

7三 の設問 （正答率：33.6 %）

問題用紙 2

【話し合いの様子の一部】

同さん 学校の近くの公園は、広くて遊具があり、一年生のころから遊んでいる場所です。わたしは、今まで使ってきた公園を自分たちできれいにすること、もっとたくさんの人に気持ちよく使ってもらえるようにしたいです。わたし自身、どうすればよいか考えているところですが、みなさんはどんなアイデアがありますか。

谷原さん わたしは、公園に行くとき、おかしなふくやペットボトルがいっぱい落ちていて、気がになります。そこで、「ごみ拾い」があるといいと思います。「きれい」というのは、ロボットのことではなく、活動する時間のことです。

山下さん 公園のごみを拾うことは、すぐできるのよと思います。でも、続けることはむずかしい気がします。わたしは、この公園には花が少ないので、許可をもらって、もっとたくさん花を植えば、はなやかな感じになると思います。

谷原さん ①確かに、山下さんの言うとおり、花を植えることはわたしにもできるし、はなやかになり、よいと思います。ただ、こまめに公園へ行って花の水やりなどの世話を続けることもむずかしいそうすね。

山下さん その点については、もう少し考えていきたいと思っています。

前田さん ②わたしは、公園の遊具のベンキをぬり直したいと思っています。

中村さん 公園のすべり台やジャングルジムは、できてから時間がたっていて、どれも暗い感じがします。そこで、自分たちだけでできるかどうかは気になりますが、明るい感じにするために赤色や黄色のペンキで、ぜひぬり直したいと思っています。

中村さん ③なるほど、いいアイデアですね。ベンキをぬり直して明るくすると、公園がきれいになるということですね。

同さん こうして、みなさんの話を聞いてみると、どれも公園をきれいにするためのアイデアですね。

中村さん 今までの話し合いで出たアイデアについて、よい点と問題点に分けて（メモ）をしてみました。

谷原さん わたしは、公園が明るくなるので、ベンキをぬり直すことがよいと考えました。できるかどうかは分からないという問題点については、公園を管理している人や家の人にとらえようというように思います。

同さん みなさんのアイデアや（メモ）から、取り組みやすいという理由で、わたしは、（話し合いが続く）

アイデア	
ごみ拾い	○よい点 △問題点
花植え	○よい点 △問題点
ベンキぬり	○よい点 △問題点

（条件）

○「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選び、その問題点についての解決方法を考えて書くこと。

○【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○書き出しの言葉に続けて、五十文字以上、八十文字以内にとめて書くこと。なお書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

（令和4年度全国学力・学習状況調査 小学校国語1四による）

（２） 課題の改善に向けた指導のポイント

互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるように指導する

【第5学年及び第6学年】 A 話すこと・聞くこと
オ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

指導に当たっては、話し合いを始める際に話し合いの目的や方向性を検討すること、話し合いの展開や内容を踏まえて互いの意見を整理すること、話し合

った後で考えをまとめる際に様々な視点から検討したことを踏まえて、自分の考えをまとめさせることが重要です。

本設問では、「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選び、その問題点についての解決方法を具体的に考えていくことが求められています。話し合いの目的を意識しながら、自分のこととして考えさせていくことが重要です。

(3) 課題に対応したワークシート

話す

話すこと・聞くこと

立場や意図を明確にして、自分の考えをまとめよう

年 組 番 名 前

秋山さんの夢は、外国の人たちとの交流会で、折り紙について話し合っています。次は、【話し合いの様子の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

同会

これから、外国の人たちと楽しく交流するための内容について話し合います。まず、三人の代表の人に考えを発表してもらいます。そして、その意見をもとにして、交流会でどのようなことを行うとよいかについて全員で話し合い、交流会で何を行うかを決めます。

谷川

それでは、谷川さんから、発表をお願いします。

花本

わたしは、折り紙を折るのがいいと思います。なぜなら、折り紙は、作ったものを持ち帰ることができるからです。でも、交流会の時間が短いので、できあがらないかもしれません。

池田

わたしは和だいを演習するのがいいと思います。和だいはだれにでも音が出せるので、楽しんでもらえると思いますが、和だいを借りるかについては、なやんでいます。

同会

二人で代表の人に考えを発表してもらいました。谷川さんと花本さんは、「折り紙」がよいという考えでした。池田さんは、「和だい」がよいという考えでした。それぞれの意見についてよい点と問題点がありました。三人の意見について、みなさんはどう考えますか。

上野

わたしは和だいを演習する方がいいと思います。池田さんが話したように、和だいはだれにでも音が出せるので、外国の人たちに親近感を抱いてもらえることができるからです。そこから和だいを借りるかという問題点については、近くの公民館で借りることができると思います。

秋山

わたしは折り紙を折る方がいいと思います。

（話し合いが続く）

- (問い) 秋山さんは、【話し合いの様子の一部】の で、自分の考えを話します。あなたが秋山さんなら、どのように話しますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。
- (条件) ○ 「折り紙を折る」の問題点についての解決方法を考えて書くこと。
○ 【話し合いの様子の一部】の中から言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 書き出しの言葉に続けて、五十文字以上、九十文字以内にもとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはくまない。

※の印から書きましょう。とほほうで付を張らないで、続けて書きましょう。

(例)

わたしは折り紙を折る方がいいと思います。

交	流	会	の	時	間	が	短	い	の	で	、	で	き	あ	が	ら	な	い	か
も	し	れ	な	い	と	い	う	問	題	点	に	つ	い	て	は	、	か	ん	単
な	も	の	を	初	め	に	折	っ	て	、	時	間	が	あ	れ	ば	む	ず	か
し	い	も	の	も	折	れ	ば	よ	い	と	思	い	ま	す	。				

50字

*学校の先生方は、上記のワークシートを「みえの学力向上県民運動」のホームページ「先生のページ」,「学-Viva!!セット (小学校)」内の「国語 第23弾 立場や意図を明確にして自分の考えをまとめよう sko_viva23004」から、ダウンロードできます。

*児童の端末では、「CBTシステム」にログインし、「ワークシート」内の「小学校→5年生→国語」の「学-Vivaセット23弾/話すこと・聞くこと」から、上記のワークシートをダウンロードできます。

(4) 課題の改善に向けた授業例の紹介（授業アイディア例より）

授業アイディア例

「地域のためにできることについて話し合おう」 ～互いの立場を明確にしながら計画的に話し合い、考えをまとめる～	〈実施対象学年〉 第5・6学年						
本授業アイディア例では、単元の流れに沿って、課題に応じた指導事例を以下のように取り上げて紹介します。 ①話し合いの目的を意識できず、自分のこととして考えることができていない場合→【指導事例①】 ②互いの意見から必要な情報を見付けることができていない場合→【指導事例②】 ③自分の考えをまとめることができていない場合→【指導事例③】							
【指導事例①】	自分のこととして考えることができるように、話し合う際に、話し合いの目的や方向性を確認し、計画的に話し合えるようにする						
学級全体では、「地域のためにできることについて話し合おう」ということになったけれど、私たちのグループの話題と、話し合いの目的を確認しよう。 公園が汚れているのが気になるな。公園をきれいにして、もっとたくさんの人に使ってもらいたいな。私たちのグループの話題は、「公園をきれいにすること」にしよう。 今回の話し合いの目的は、公園をきれいにするために自分たちができることを考えるということだね。 話し合いの方向性と、具体的にどのように進めていくか、確認しよう。 方向性としては、いろいろな考えを出し合いながら話し合っていきたいね。 まずは、それぞれの考えを出し合っていこうか。 理由も聞きたいな。 よい点や問題点を整理しながら進めることも大事だね。 グループで確認したこと <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; border: 1px solid #888; padding: 2px;">話題</td> <td style="border: 1px solid #888; padding: 2px;">公園をきれいにすること</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid #888; padding: 2px;">目的</td> <td style="border: 1px solid #888; padding: 2px;">公園をきれいにするために、自分たちができることを考える</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid #888; padding: 2px;">方向性</td> <td style="border: 1px solid #888; padding: 2px;">考えを広げるために話し合う →そのために、互いの考えを明確にする よい点や問題点を整理しながら進める</td> </tr> </table> このグループでは、話し合いの目的や方向性をみんなで確認していて、とてもよいですね。確認したことを記録しておいて、話し合いのときに、意識している点もよいですね。		話題	公園をきれいにすること	目的	公園をきれいにするために、自分たちができることを考える	方向性	考えを広げるために話し合う →そのために、互いの考えを明確にする よい点や問題点を整理しながら進める
話題	公園をきれいにすること						
目的	公園をきれいにするために、自分たちができることを考える						
方向性	考えを広げるために話し合う →そのために、互いの考えを明確にする よい点や問題点を整理しながら進める						
ポイント ▶ 話し合いを始める際に、話し合いの目的や方向性を確認する場を設けることが大切です。必要に応じて、教師が本指導事例のような話し合いのモデルを示すことも考えられます。 教師が、話し合いの目的や方向性を確認している児童の姿を価値付けたり、他のグループに紹介したりすることも大切です。 また、グループで確認したことを記録に残すように促し、その後の話し合いにおいても、意識するように働き掛けていくと効果的です。							

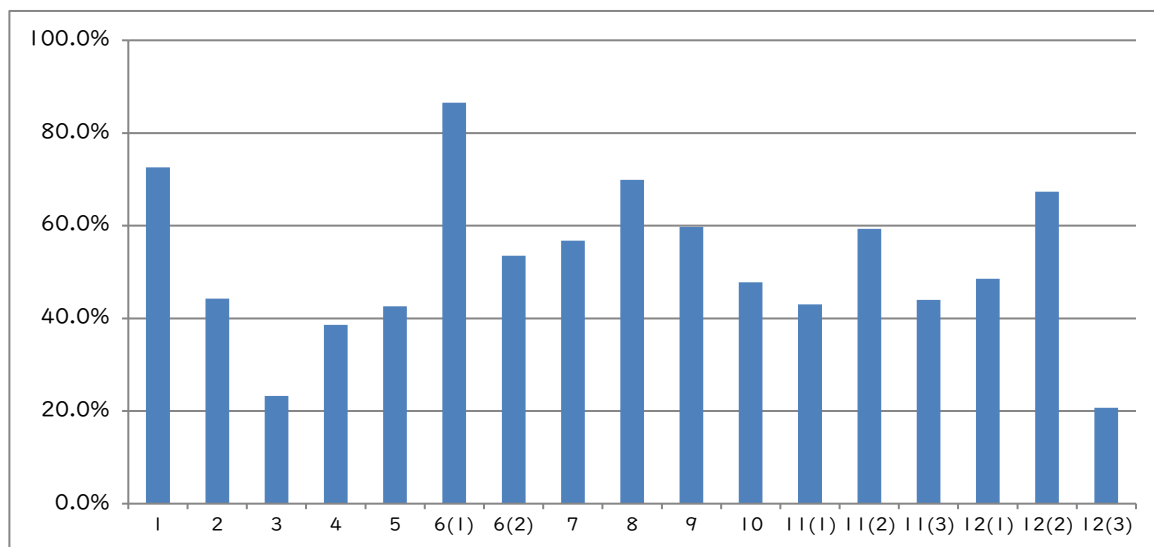


令和4年度第2回みえスタディ・チェックの結果(小学校算数)

1 平均正答率，平均無解答率及び領域別平均正答率

平均正答率 (平均正答数)	平均 無解答率	領域別平均正答率				
		数と計算	図形	測定	変化と 関係	データの 活用
51.7% (8.8 問/17 問)	2.56%	48.1%	50.0%	56.7%	64.6%	45.5%

2 各問題の正答率グラフ



3 各問題の正答率・改善状況 ※網掛けは，正答率が過去より5ポイント以上低い問題です。

問題番号	問題概要	問題形式	正答率	過去 同一問題 正答率	改善状況
1	100-20×4の計算をする	短答	72.6%	76.8%	-4.2
2	4は10の何倍かを求める	短答	44.2%	46.3%	-2.1
3	12÷0.8の式で求められる問題をすべて選ぶ	選択	23.3%	24.8%	-1.5
4	色をぬった部分の長さが $\frac{2}{3}$ mのテープを選ぶ	選択	38.6%	37.2%	+1.4
5	180度以上の角の大きさを求める	選択	42.6%	44.6%	-2.0
6	(1) 面積がそろっている㊶と㊷の二つのシートの混み具合について，正しいものを選ぶ	選択	86.5%	86.4%	+0.1
	(2) ㊸と㊹の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について，正しいものを選ぶ	選択	53.5%	54.8%	-1.3
7	午前10時35分から午後1時15分までの時間を求める	短答	56.7%	58.1%	-1.4
8	分速70mの速さで20分間歩いたときの道のりを求める	短答	69.9%	—	—
9	L字型の図形の面積の求め方を表す式を，示された図を基に選ぶ	選択	59.8%	60.5%	-0.7
10	水平になっていない辺を底辺としている直角三角形の面積を求める	短答	47.8%	47.4%	+0.4

11	(1)	$\frac{1}{4}$ の図を直すわけとしてまとめた文章に入る数を書く	短答	43.0%	46.1%	-3.1
	(2)	$\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ の計算の仕方を表している図について、一つ分の大きさが何であるのかを書く	短答	59.3%	60.3%	-1.0
	(3)	$0.75 + 0.9$ について、ある数のいくつかを考え、整数のたし算に表して説明するときの求め方を書く	記述	44.0%	47.5%	-3.5
12	(1)	学校ごとの 1 人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ	選択	48.5%	48.3%	+0.2
	(2)	示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ	選択	67.4%	70.5%	-3.1
	(3)	A 小学校と B 小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く	記述	20.7%	26.1%	-5.4

【改善が図られた問題】

- ・ 分数の意味を問う問題（4）
- ・ 直角三角形の面積を求める問題（10）

【課題が見られる問題】

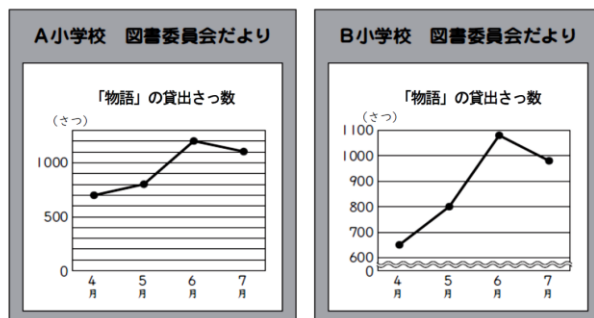
- ・ 減法と乗法の混合した整数の計算をする問題（1）
- ・ グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を、言葉や数を用いて記述する問題（12（3））

4 課題が見られる問題とその課題の改善に向けた指導のポイント

（1） 課題が見られる問題

12（3） の設問 （正答率：20.7 %）

- （3） 各学校の図書委員たちは、読書活動をすすめた成果を表すために、4 月から 7 月までの 4 か月間の「物語」の貸出さつ数の変化の様子を、それぞれ折れ線グラフにまとめました。



けんたさんは、上の 2 つのグラフの、5 月から 6 月までの「物語」の貸出さつ数の変化の様子を見比べて、次のように言いました。



けんた

A 小学校に比べて B 小学校のほうが、5 月から 6 月までの線のかたむきが急です。

だから、A 小学校に比べて B 小学校のほうが、5 月から 6 月までの「物語」の貸出さつ数の増え方は大きいです。

けんたさんが言っている、——部^{かたむき}のことは正しくありません。
そのわけを、グラフから読み取れる貸出さつ数に着目して、言葉や数を使って書きましょう。

※解答は、解答用紙^{かいとうし}に書きましょう。

(2) 課題の改善に向けた指導のポイント

縦軸の幅が変わることによって見え方が異なる二つのグラフについて、批判的に考察し、情報を正しく読み取ることができるように指導する

【第4学年】 D データの活用 (1) データの分類整理

データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 折れ線グラフの特徴とその用い方を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察すること。

折れ線グラフは、折れ線の傾きによって数量の増減の様子を表すことができますが、縦軸の目盛りの付け方によっては、数量の増減の様子を大きく見せたり、小さく見せたりすることもできます。グラフに表すときは、目的に応じて適切に目盛りの大きさを決め、表したい事柄を的確に表現することが大切です。また、グラフを比較するときは、それぞれの目盛りの大きさなどに留意して的確に読み取ることができるようにすることが大切です。その際、事象に対して誤った判断をしないよう、根拠を明らかにして説明できるようにすることが大切です。

指導に当たっては、事象に対して誤った判断をしないよう、根拠を明らかにして説明できるようにすることが大切です。複数の折れ線グラフを提示し、比較する場面を取り上げて、変化の大きさや増え方の大きさの違いについて考察する場面を設けることが考えられます。例えば、A小学校とB小学校のグラフを提示し、どちらの学校の方が「物語」の貸出冊数の増え方が大きいかを比較し、折れ線の傾きだけでは判断できないことに気付くようにすることが考えられます。その際、A小学校とB小学校のグラフを同じ目盛りの大きさでかき直し、重ねて比較することも考えられます。

(3) 課題に対応したワークシート

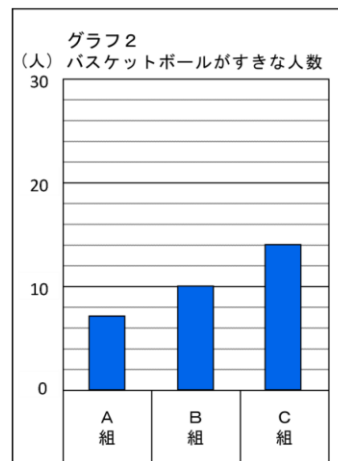
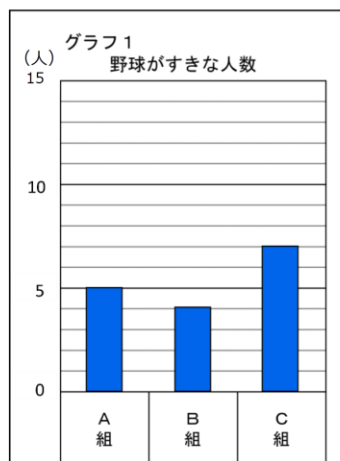
答え

数量関係

グラフを読み取ろう

年 組 番 名前

- 1 はるかさんたちは、3年A組からC組までの全員に、^{ぜんいん}「好きなスポーツ」についてのアンケートをとり、その中で人数が多かったスポーツを2つのぼうグラフに表しました。
はるかさんたちは、グラフ1とグラフ2を見て、次のように話しています。



はるか

野球が好きな人数は、C組がいちばん多いです。



かいと

バスケットボールが好きな人数も、C組がいちばん多いです。



ゆうか

A組とC組の野球が好きな人数のちがいは、2人です。

B組とC組のバスケットボールが好きな人数のちがいは、2人です。

ゆうかさんの言っている「A組とC組の野球が好きな人数のちがいは、2人です。B組とC組のバスケットボールが好きな人数のちがいは、2人」という考えは正しくありません。
そのわけを言葉と数を使って書きましょう。

【わけ】

〈かい答れい〉

2つのグラフを見ると、グラフ1は1めもりが1人を表し、グラフ2は1めもりが2人を表していることがわかります。

グラフ1のA組とC組の野球が好きな人数のちがいは、2人となります。グラフ2のB組とC組のバスケットボールが好きな人数のちがいは、4人となります。

だから、ゆうかさんの言っていることは正しくないとと言えます。

*学校の先生方は、上記のワークシートを「みえの学力向上県民運動」のホームページ「先生のページ」,「学-Viva!!セット(小学校)」内の「算数 第14弾 グラフを読み取ろう ssa_vival4002」から、ダウンロードできます。

*児童の端末では、「CBTシステム」にログインし、「ワークシート」内の「小学校→3年生→算数→ぼうグラフと表」の「ぼうグラフ②」から、上記のワークシートをダウンロードできます。

(4) 課題の改善に向けた授業例の紹介（授業アイデア例より）

算数

TYPE
I・II

B[4](3)

「グラフを批判的に考察しよう」

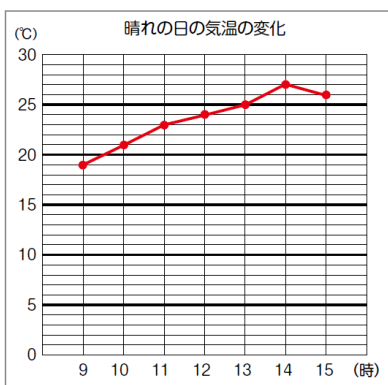
～折れ線グラフを的確に読み取り、目的に応じてグラフを表現し直す～

B[4](3)の結果を分析すると、グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、事柄を正しく判断することに課題が見られました。本授業アイデア例では、日常生活の場面で、目的をもって表現された2つのグラフについて、目盛りの幅の違いに気付く、そのことからグラフを比較しやすいように表現し直し、事柄を的確に判断できるようにすることを狙いとした授業を紹介します。

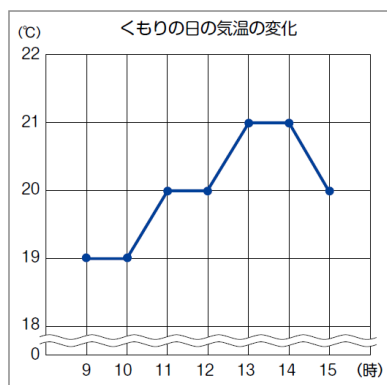
授業アイデア例

A班は晴れの日、B班はくもりの日について、午前9時から午後3時までの気温の変化を、下の折れ線グラフのように表しました。

A班



B班



① 2つのグラフの変化の様子を比較し、1目盛りの幅の違いに気付く。



教師

10時から11時までの間で、晴れの日とくもりの日のどちらの方が気温の変わり方が大きいでしょうか。



10時から11時の間の気温の変化を比べると、くもりの日の方が、グラフの傾きが急に見えるから、気温の変化も大きいと思います。



でも、10時と11時の気温を読み取ると、晴れの日
は21℃から23℃で2℃上がっていて、くもりの日
は19℃から20℃で1℃上がっています。

1目盛りの幅が違うから、グラフの
傾きだけでは比べられないね。



ポイント

グラフを比較するときは、それぞれの目盛りの幅や数値などに留意する必要があることに気付かせることが大切です。

② 気温の変化を比較できるようにグラフを表現し直し、グラフの特徴を話し合う。



2つの気温の変化は、グラフをどのように変えると比べやすくなりますか。



それぞれのグラフの目盛りの幅を
そろえるとよいと思います。



だったら、1つのグラフ用紙に晴れの日とくもりの
日を重ねてかくと、比べやすいと思います。

課題の見られた問題の概要と結果

B 4 資料の読み取りと判断の根拠の説明 (本の貸出冊数調べ)

B 4(3) 正答率 **25.0%**

A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読み取った事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く

学習指導要領における領域・内容

〔第4学年〕D 数量関係 (4) イ



10時から11時までの間の気温を比べると、晴れの日の方が、グラフの傾きが急だから、気温の変わり方が大きいと言えます。



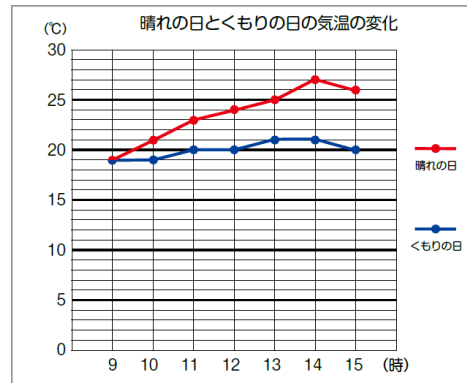
グラフ全体を見ると、晴れの日では気温の変わり方は大きいけど、くもりの日の気温の変わり方はあまり大きくありません。



1つのグラフに表すと、晴れの日とくもりの日の気温の変わり方が比べやすくなるね。

ポイント

グラフの特徴について考察したことを基に、目的に応じたグラフに表現し直すことが大切です。



本授業アイデア例

活用のポイント!

整理した資料から生まれた新たな疑問を解決するために、資料を収集し直したり、伝えたいことがよりの確に伝わるように、グラフを表現し直したりすることが大切です。

資料を収集し直す活動の例

「各学校の月ごとの貸出冊数 (冊)」

学校	4月	5月	6月	7月	合計
A小学校	986	2918	3414	2420	9738
B小学校	849	2523	2938	2095	8405



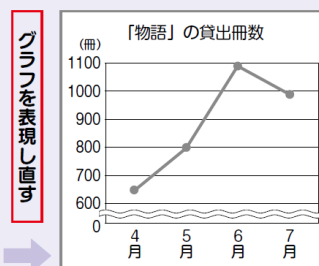
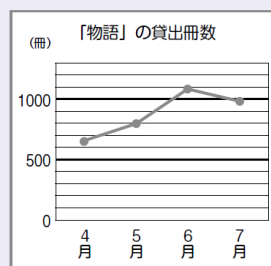
どちらの学校の子どもの方がよく本を借りているかな。1人あたりの貸出冊数で比べてみよう。



それなら、各学校の児童の人数を調べる必要があるね。

さらに必要な資料を集める

グラフを表現し直す活動の例



グラフを表現し直す



このグラフだとあまり変化があったように見えないね。



目盛りの幅を変えたり、600冊未満の目盛りを省略したりしよう。



これなら変化の様子がしやすいね。



表したいことに応じて、グラフの表現の仕方を工夫することが大切なのですね。

参照 ▶ 「平成 28 年度 報告書 小学校 算数」P.85 ～ P.91, 「平成 28 年度 解説資料 小学校 算数」P.72 ～ P.77

国立教育政策研究所ホームページ

「平成 28 年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」
(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>)

